

提出書類 2

2025 年度
収支予算書

2025年度収支予算書
2025年 4月 1日から2026年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
基本財産利息収入	251,000	1,859,000	29,000	0	2,139,000	61,000	2,200,000
受取寄付金							
一般寄附金収入	228,000	1,690,000	26,000	0	1,944,000	56,000	2,000,000
特定寄附金収入	0	0	0	0	0		0
受取返戻金							
助成金戻収入	0	0	0	0	0	0	0
雑収益							
運用財産利息収入	30,000	228,000	3,000	0	261,000	9,000	270,000
経常収益計	509,000	3,777,000	58,000	0	4,344,000	126,000	4,470,000
(2) 経常費用							
事業費							
顕彰費	4,000,000	0	0		4,000,000		4,000,000
学術研究支援助成費	0	78,000,000	0		78,000,000		78,000,000
学術集会開催支援助成費	0	0	0		0		0
学術講演会開催費			50,000		50,000		50,000
役員報酬	0	0	0		0		0
給料手当	1,422,000	1,895,000	474,000		3,791,000		3,791,000
臨時雇賃金	0	0	0		0		0
退職給付費用	51,000	68,000	17,000		136,000		136,000
福利厚生費	165,000	220,000	55,000		440,000		440,000
会議費	3,000	4,000	1,000		8,000		8,000
旅費交通費	93,000	124,000	31,000		248,000		248,000
通信運搬費	86,000	111,000	27,000		224,000		224,000
減価償却費	0	0	0		0		0
消耗什器備品費	3,000	4,000	1,000		8,000		8,000
消耗品費	15,000	20,000	5,000		40,000		40,000
修繕費	0	0	0		0		0
印刷製本費	198,000	11,000	3,000		212,000		212,000
光熱水料費	0	0	0		0		0
賃借料	137,000	182,000	46,000		365,000		365,000
図書費	0	0	0		0		0
諸謝金	195,000	260,000	65,000		520,000		520,000
租税公課	1,000	1,000	1,000		3,000		3,000
支払負担金	0	0	0		0		0
雑費	56,000	74,000	19,000		149,000		149,000
管理費							
役員報酬						0	0
給料手当						948,000	948,000
退職給付費用						34,000	34,000
臨時雇賃金						0	0
福利厚生費						110,000	110,000
会議費						2,000	2,000
旅費交通費						62,000	62,000
通信運搬費						53,000	53,000
減価償却費						0	0

消耗什器備品費						2,000	2,000
消耗品費						10,000	10,000
修繕費						0	0
印刷製本費						6,000	6,000
光熱水料費						0	0
賃借料						91,000	91,000
図書費						0	0
諸謝金						130,000	130,000
租税公課						1,000	1,000
支払負担金						0	0
雑費						37,000	37,000
経常費用計	6,425,000	80,974,000	795,000	0	88,194,000	1,486,000	89,680,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,916,000	△ 77,197,000	△ 737,000	0	△ 83,850,000	△ 1,360,000	△ 85,210,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,916,000	△ 77,197,000	△ 737,000	0	△ 83,850,000	△ 1,360,000	△ 85,210,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,916,000	△ 77,197,000	△ 737,000	0	△ 83,850,000	△ 1,360,000	△ 85,210,000

(注)

- 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式および平成20年4月に公表された新たな公益法人会計基準に準ずるとともに、公益法人認定法施行規則第30条に基づいて作成している。
- 事業区分は、行政庁への定期提出書類における公益目的事業の事業番号による区分とし、公1は「健康な加齢と加齢による疾患に関する研究者の顕彰」、公2は「健康な加齢と加齢による疾患に関する学術研究および学術研究集会開催に対する支援助成事業」、公3は「健康な加齢と加齢による疾患に関する講演会、シンポジウムの開催」である。
- 経常収益の各事業における小科目経費については、それぞれ事業ごとの経常費用の比率で按分計上している。「基本財産評価損益等」「投資有価証券評価損益等」についても同様である。
ただし、経常収益の小科目のうち、「特定寄附金収入」については、指定募金事業別に公1および公2に計上している。
- 経常費用の「事業費」および「管理費」の各小科目経費に関して、各事業活動に共通するものについては、従事割合および業務割合の比により按分計上し、各事業特有の経費については、按分した共通経費額に加えて計上している。
- 資金調達の見込みについて
経理規程の定めにより借入金を行わない。
- 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定はない。
- 債務負担額
0円(2022年度以降も債務負担の計画はない)